

●景観形成の目標像

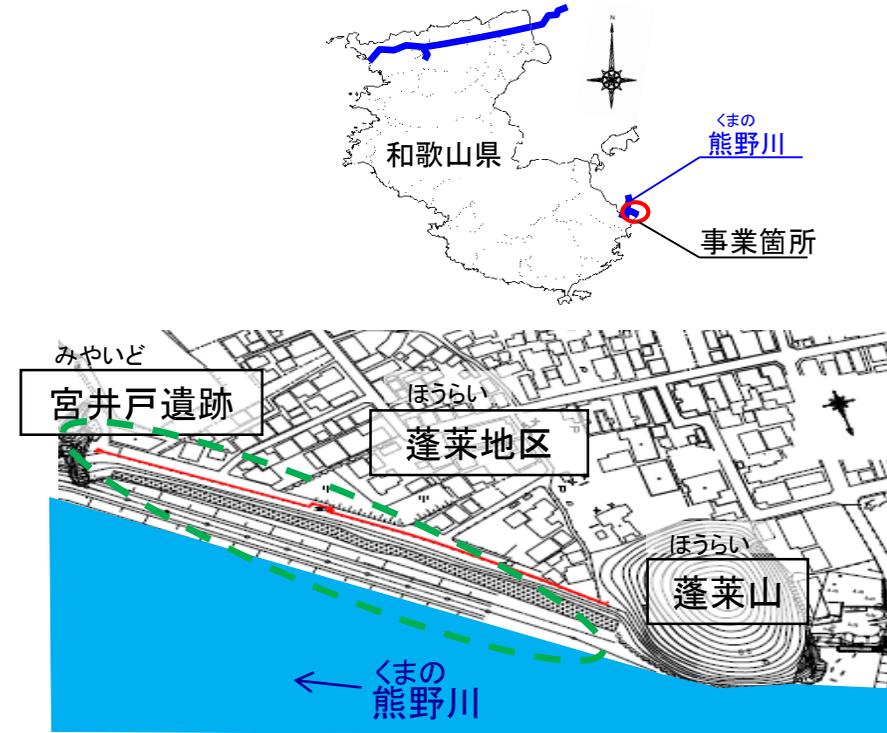
史跡や周辺自然環境に配慮した堤防天端整備

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

現在の景観を保全するため、既設擁壁に継ぎ足しを行う際に、新設部のコンクリート（かさ上げ部分）の色彩を既設擁壁のコンクリートの経年変化色に極力合わせ、統一性を持たせた。

②細部設計、材料等の選定の考え方

現在の景観を保全するため、新設部のコンクリート（かさ上げ部分）のコンクリート表面をハツリ模様とした。



(事業後)



(事業前)

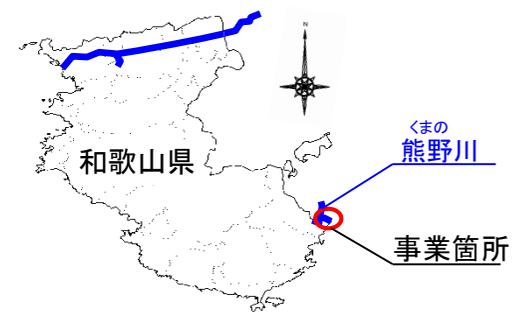


● 景観形成の目標像

現在の河川景観（権現河原）の保全と高水敷利用を考慮した整備

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

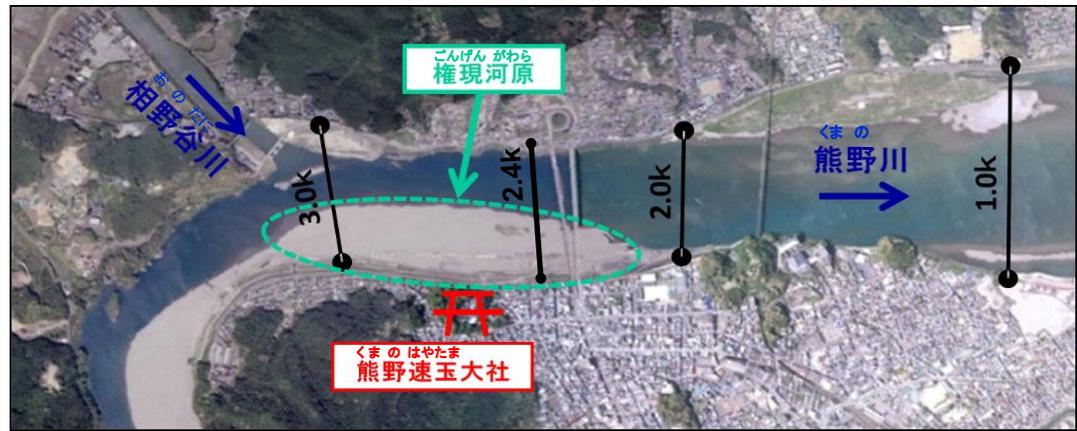
現在の河川景観（権現河原）の保全と高水敷利用を考慮した整備を行うため、高水敷部について各種行事等における利用スペースを確保し、高さや幅に配慮した。



神事



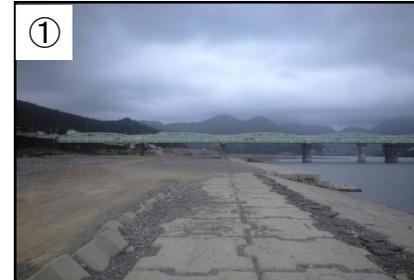
花火大会



（事業前）



（事業後）



●景観形成の目標像

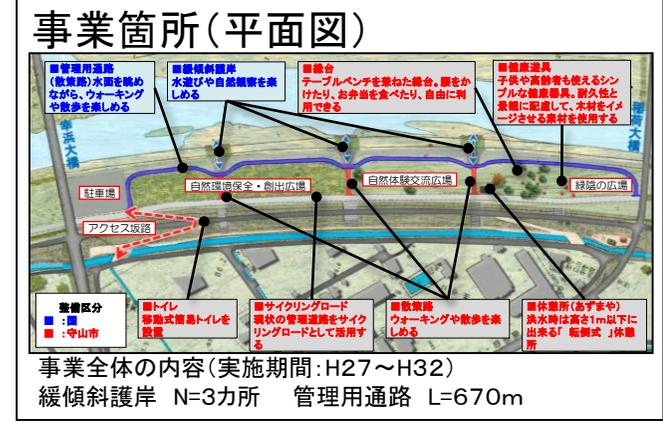
守山市が策定したかわまちづくり計画と連携しながら、  
周辺ののどかな田園風景と調和する水辺空間を創出する。

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

河川利用者が一層、水辺に近づきやすい河川環境とするため、  
緩傾斜護岸(スロープ)の配置は、水辺へのアクセス性を考慮し  
現況堤防に設置されている階段から直線上の位置で、且つ経年的に  
砂州が形成されている箇所を選定した。

②細部設計、材料等の選定の考え方

現河川景観との調和を考慮して視覚的な影響を少しでも軽減  
させるため、緩傾斜護岸(スロープ)との既設護岸との取り付け  
護岸については、石積みとした。



(事業前)



(事業後)



## ● 景観形成の目標像

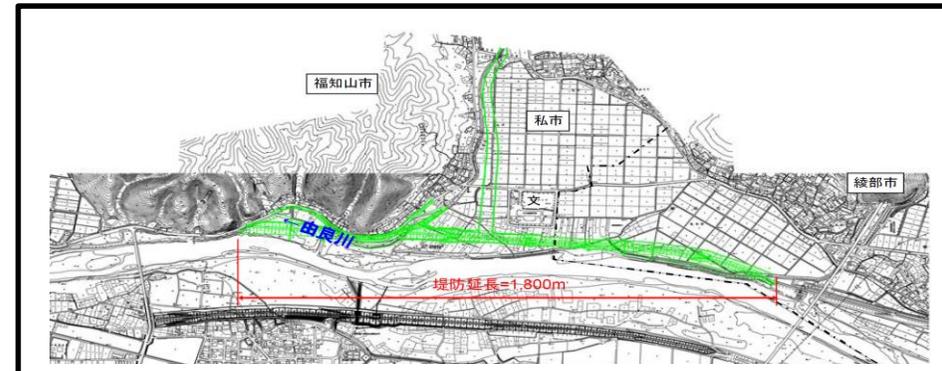
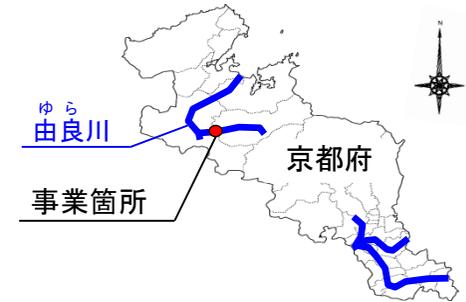
周辺の緑(河畔林、堤防の緑、田畑)と一体化させ、  
田園風景に配慮した河川空間を創出する。

### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

周辺の緑(河畔林、堤防の緑、田畑)と一体化させ、  
田園風景に配慮した河川空間を創出するため、  
堤防の連続性も考慮し、堤防が整備された後も周辺の  
緑の要素と調和した構造とした。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

自然景観と調和させるため、連節ブロックの覆土型を  
採用し、緑化を促した。



由良川直轄河川改修事業：  
由良川中流域右岸の福知山市から綾部市に跨がる私市地区の築堤を整備した。

(事業後)

(事業前)





●景観形成の目標像

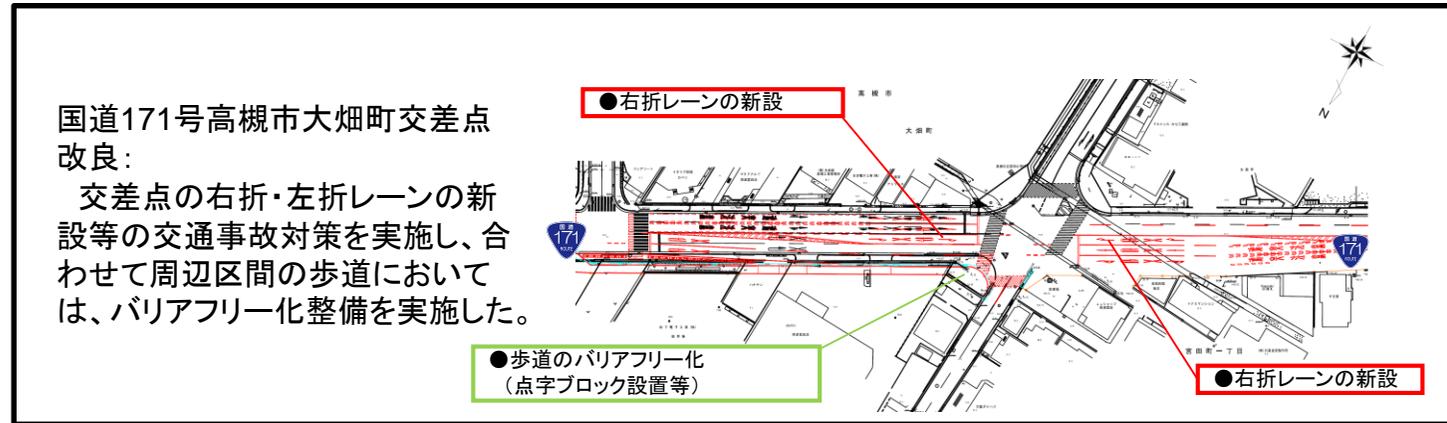
防護柵色調の統一を図る区間となる景観的基調のゾーン選定により、工場混在ゾーンとして整備する。

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

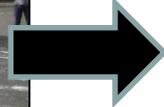
景観に配慮した防護柵の整備マスタープランにより、材質は一般的な素材である鋼製のものを用了。

②細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵の整備マスタープランにより周辺環境と調和した色彩(グレーベージュ)の防護柵を、車両通行からの安全性を確保できる位置に設置した。



(事業前)



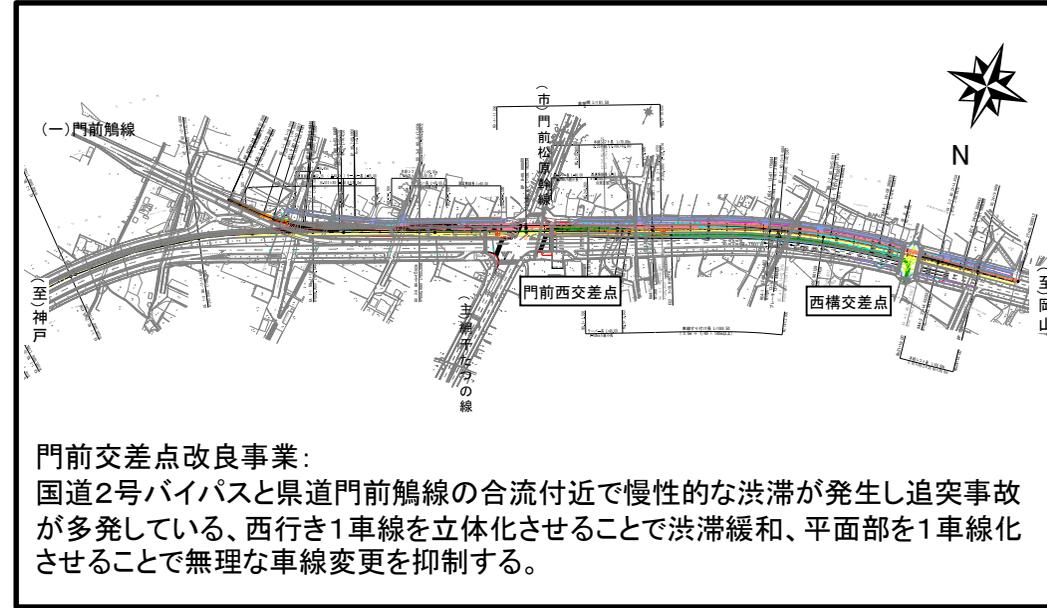
(事業後)



# 事業完了 国道2号門前交差点改良(一般検討事業)

## ● 景観形成の目標像

平野ゾーン(田園・集落地)  
を通る道路で、周辺の景観を  
考慮した道路整備を行う。



門前交差点改良事業：  
国道2号バイパスと県道門前鰯線の合流付近で慢性的な渋滞が発生し追突事故  
が多発している、西行き1車線を立体化させることで渋滞緩和、平面部を1車線化  
させることで無理な車線変更を抑制する。

## ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の 考え方

道路施設全般(ガードレール、標識柱、照明柱な  
ど)を景観に配慮したグレーベージュ(薄灰色)  
とした。

(事業後)

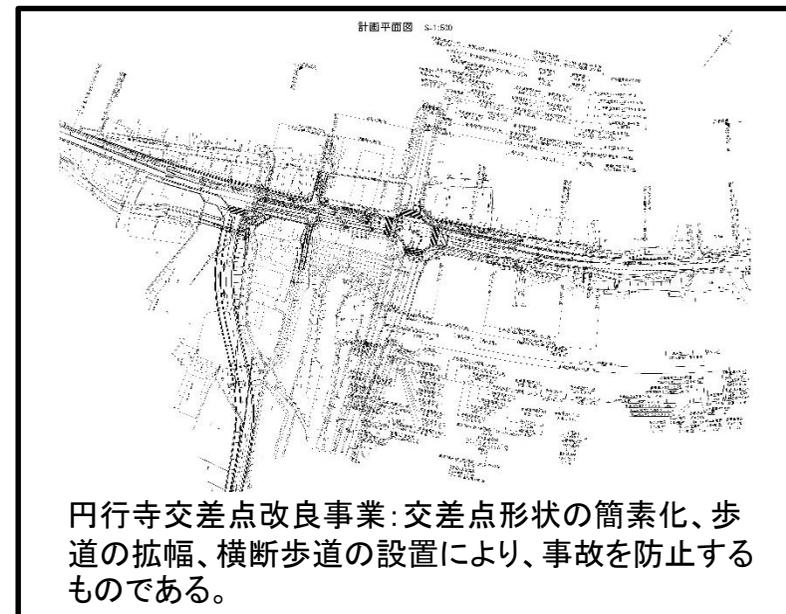


(事業前)



## ● 景観形成の目標像

南あわじ市の市街地を通過する道路であり、周辺の景観に配慮した交差点改良を行う。



## ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

防護柵は、既設構造物及び周辺の景観に配慮し、景観配慮型防護柵のマスタープランにある色彩（ダークブラウン）を用いた。

（事業前）



（事業後）



## ●景観形成の目標像

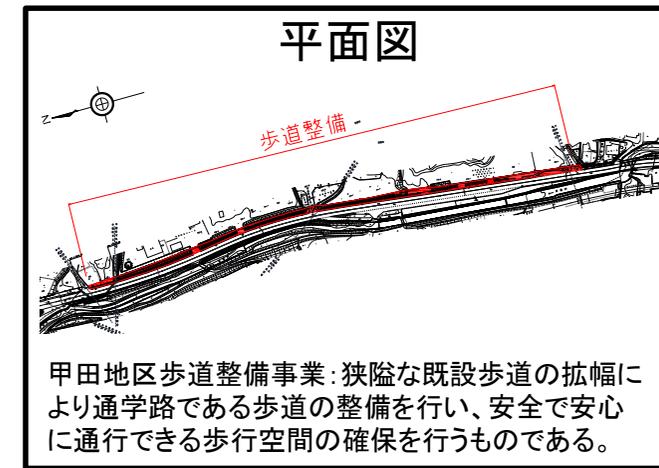
家屋等や田園が混在する景観を基調とした道路空間の形成

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づき、シンプルな形状とするとともに、透過性の配慮、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインや材質を選定した。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

景観配慮型防護柵のマスタープランにある色彩計画に基づき、ダークブラウンを採用した。



(事業前)



(事業後)



## ●景観形成の目標像

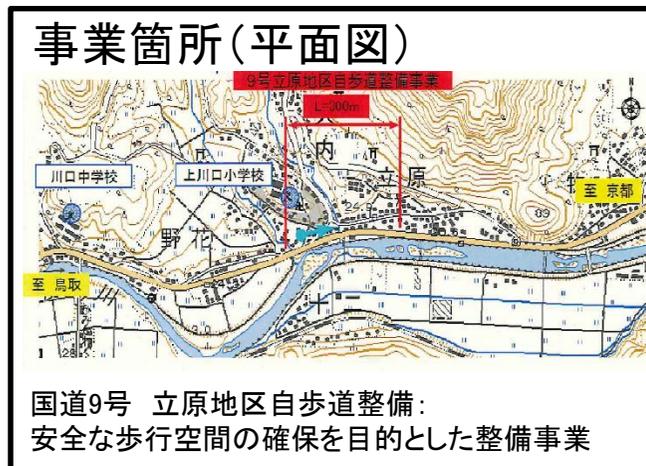
自然的な景観や、空間的な広がりがある景観特性を有する地域に調和した道路空間の形成

### ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

シンプルな形状とすると共に、透過性の配慮、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインや材質を選定した。

### ②細部設計、材料等の選定の考え方

まとまりのある連続的な空間を形成するために、当該前後区間の防護柵の色彩計画と統一し、ダークブラウンとした。



(事業後)



(事業前)





●景観形成の目標像

防護柵色調の統一を図る区間となる景観的基調のゾーン選定により、一般市街地ゾーンとして整備する。

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

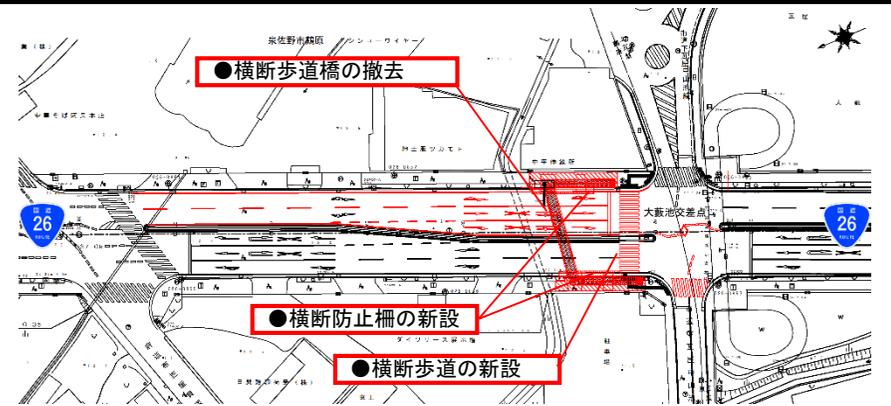
統一感のある連続的な空間を形成するため、「景観に配慮した防護柵の整備マスタープラン(案)」に基づく防護柵を選定し、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインでシンプルな形状とした。

②細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵の色彩は、周辺の景観と調和するグレーベージュとした。

国道26号泉佐野市鶴原地区歩道整備:

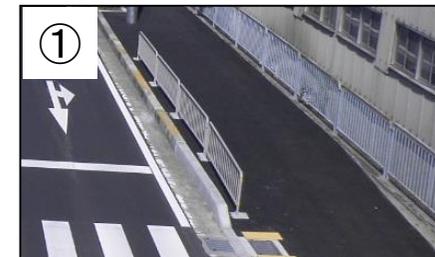
交差点改良工事で、既設横断歩道橋を撤去し、新設横断歩道整備を実施した。



(事業前)



(事業後)



## ● 景観形成の目標像

歴史遺産と調和した歩行空間

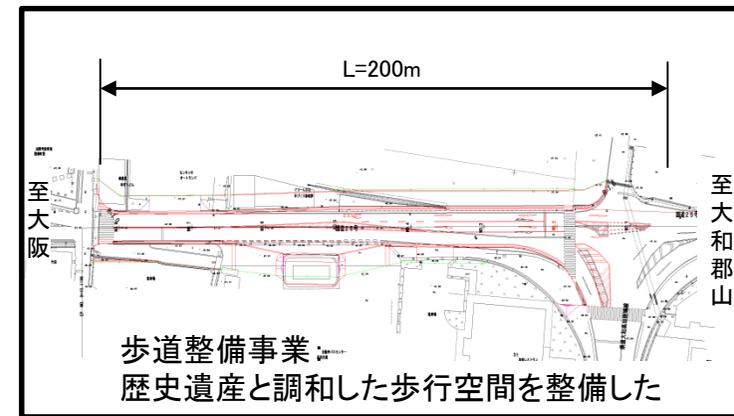
### ① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

防護柵に擬宝珠付支柱を用いる等、伝統に配慮した意匠を用いた。

### ② 細部設計、材料等の選定の考え方

防護柵等の色彩については、眺望障害防止と自然景観への馴染みの観点から明度彩度の低いブラウン系とした。

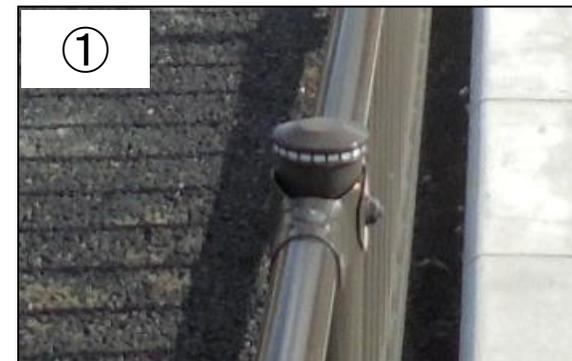
(「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」を参考)



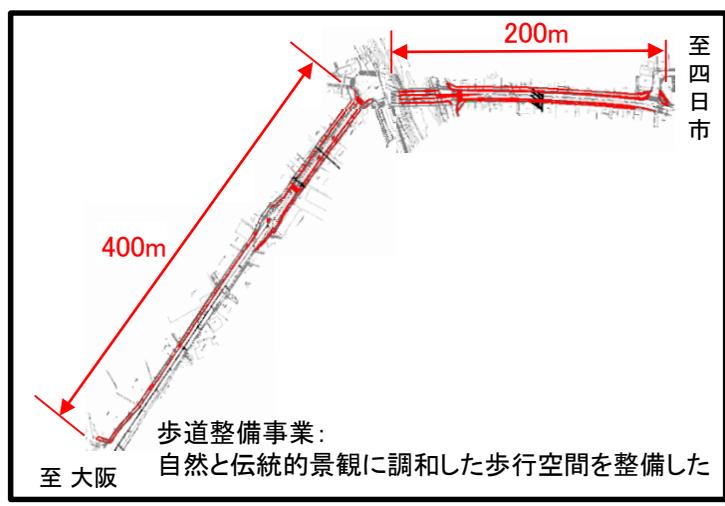
(事業前)



(事業後)



## ● 景観形成の目標像 自然と伝統的景観に調和した歩行空間



① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方  
防護柵に擬宝珠付支柱を用いる等、伝統に配慮した意匠を用いた。

② 細部設計、材料等の選定の考え方  
防護柵等の色彩については、眺望障害防止と自然景観への馴染みの観点から明度彩度の低いブラウン系とした。  
(「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」を参考)

(事業前)



(事業後)

